

注：指示があるまで開けないで下さい。

総合防犯設備士資格認定試験

第一次試験(筆記方式)

B 専門問題 (選択)	
出題	4 問中 2 問選択
時間	60 分
配点	1 問 100 点・合計 200 点

受験番号	— —
氏 名	

注意事項

1. 座席は指定されています。受験番号を確認して着席して下さい。
2. 机の上には「受験票」「筆記用具」以外のものは置かないで下さい。
3. **受験番号・氏名は、はっきりと記入して下さい。別紙図面にも受験番号・氏名を記入して下さい。**
4. 解答は、設問にしたがって記入して下さい。
5. 選択した設問の上部の空欄に○印を付けてください。**3 問以上選択すると無効になります。**
6. 「試験問題」「解答用紙」は試験終了後すべて回収します。
7. 試験時間内に退席される場合は、試験問題・解答用紙を机の上に置き試験官の許可を得て静かに退席して下さい。
ただし、試験開始後30分、および試験終了前10分間は退席できません。
退席後、試験会場近辺では、静かにお願いします。
8. 試験会場においては、試験官の指示にしたがって下さい。



B 問題－1（機器関連）

出入管理設備の機能と、その概要と効果を記入例にならって記せ。

機能	概要と効果
二人在室機能 （一人在室禁止機能）	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の室内に人物を一人きりで在室させないための機能。 ・二人以上在室させることで不正行為を防止する。

B 問題-2 (施工関連)

ある工場(別紙図面)の G1-1(敷地外周警戒線)に多段式の赤外線ビーム検知器を全外周に設けて侵入検知をする。

維持管理も念頭において、赤外線ビーム検知器を施工するにあたり留意すべき点を解答欄の区分に沿って各項目あたり二つ以上記せ。ただし、配線工事は、電気設備工事とし、供給電圧・容量・絶縁抵抗値などは、満足いくものである。フェンスなど構造物の構造は変えない。

別紙図面は、設備機器の配置計画図である。

<施設・設備の概要及び運用条件抜粋>

当該工場は、30 万人都市郊外の山間部に新しく開発された工業団地内に位置する。冬場の降雪は皆無だが、降霜は相当みられる。また年間を通じて相当濃い霧の発生もみられる。イタチ、狸など小動物の姿も見かけることが多々ある。

この工業団地には、同規模の分譲敷地が約 100 区画ある。現在稼働中のもの 10 施設、建設中のものが 12 施設あり、生産工場や物流施設の誘致が期待されている。夜間、本工業団地内の往来は殆ど無いが、暴走行為を繰り返す若者が出現することがままある。

当該工場は、高級食品の加工工場である。食品加工だけにとどまらず、食材の最先端加工技術や新商品の開発及びその研究に積極的に取り組んでいる。当該工場は、24 時間稼働であるが、事務・研究部門の勤務時間は、休業日を除き 9:00～18:00 である。

「食の安全安心企業」のイメージを保つため、敷地内外の環境美化には特別な配慮をしている。敷地外部からも構内が見渡せるように、敷地外周には高さ 1.2m の高強度アルミ合金製フェンス(タテ格子ピッチ 15cm)を設けている。構内(緑地部)の植栽は、全て針葉樹で茎径は直径 10～15cm 程度、高さは 3～4m 程度であり、GL から 2～2.5m くらいまで枝打ち・剪定をされており、防犯上の視認性確保には配慮している。

G1-1(敷地外周警戒線)での侵入検知は、赤外線ビーム検知器(2 段)を全外周に設けて検知する。また、G1-1 や G1-3 の監視にはモーションディテクタ(VMD)機能搭載の防犯カメラシステム(カメラ 9 台・図中 M 記号)を設置し、不審者に対して二重の監視システムとなっている。構内の人や車両の往来等を視るためのコンビネーションカメラ(PTZ 機能搭載 9 台・図中 C 記号)も監視システムの補助システムとして稼働している。

以上

解答欄:

①	<u>検知器の配置・位置決めについて</u> ・設計図書と現場の状況を精査し、設置位置を決定する。変更する場合は、設計者へ報告する。 ・仕様書や取扱い説明書を精査し、有効な検知範囲が確実にとれるよう設置場所を決定する。
②	<u>取り付け、結線について</u>
③	<u>検知器の光軸調整について</u>
④	<u>降霜、濃霧による誤報対策について</u>
⑤	<u>小動物などによる誤報、侵入対策について</u>
⑥	<u>調整・試験・取扱い説明について</u>

B 問題－3（警備関連）

1. 警備業法第 19 条第 1 項では契約前書面交付義務について「警備業者は、警備業務の依頼者と警備業務を行う契約を締結しようとするときは、当該契約を締結するまでに、内閣府令で定めるところにより、当該契約の概要について記載した書面をその者に交付しなければならない。」としている。契約前書面に記載しなければならない事項の内、機械警備に関する項目を記入例にならって下表の空欄を埋めよ。

イ	基地局及び待機所の所在地
ロ	
ハ	
ニ	

2. 警備業法第 2 条第 5 項で規定している機械警備業務の定義を記せ。

3. 機械警備業について

- ① 各都道府県公安委員会規則による機械警備業者の「即応体制の整備の基準」の内容を記せ。
- ② 即応体制に関する努力義務の内容を記せ。

①	
②	

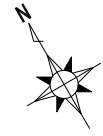
B 問題－4（設計関連）

要求仕様に基づいた防犯システム設計では、その内容で十分に機能・性能を発揮できるか、矛盾点や脆弱な箇所はないか、施工性は良いか、維持管理上で無理を生じないかなどを検証・評価することが重要である。

検証・評価する内容について、項目ごとに二つ記せ。

項 目	検 証 ・ 評 価 す る 内 容
1. 防犯上の 有効性の検証	
2. 設計内容 の検証	
3. 運用面 からの検証	
4. 維持管理面 からの検証	
5. 総合評価	

【B専門問題〈選択〉、問題一2〈施工関係〉】【工場配置図】



受験番号： _____

氏名： _____

